

# 首相、ウクライナ電撃訪問

## ゼレンスキー氏と会談へ

### ロシア侵攻後初、支援伝達

岸田文雄首相は21日、ウクライナを訪問した。政府関係者が明らかにした。外務省によると首都キーウ(キエフ)でゼレンスキー大統領と会談し、連帯と揺るぎない支援を直接伝える。首相の現地訪問は昨年2月のロシアによる侵攻開始後、初めて。安全確保を理由に事前公表せず、訪問先のインドからウクライナに向かった。日本の首相が秘密裏に外国を

訪問するのは極めて異例だ。

日本を除く先進7カ国(G7)の首脳は既にキーウを訪れており、首相も議長を務める5月のG7首脳会議(広島サミット)前の訪問を目指していた。

サミットではG7が結束して対ロシア制裁とウクライナ支援を堅持する姿勢を国際社会に示したい考え。ゼレンスキー氏との会談では被害について説明を受ける見通し。

岸田文雄首相

首相は侵攻直後から「国際秩序の根幹を揺るがす」とロシアを厳しく非難。今年1月にはウクライナから訪問を要請され「諸般の状況も踏まえ検討したい」と語った。ただ、安全確保や情報管理が課題となり調整は難航。首相の渡航情報がロシア側に漏れれば攻撃対象とされる懸念が拭えないとして、外務省などの関係省庁が慎重に検討を重ねてきた。